



しばた議会だより



(仙台大学柔道塾)

気合い十分 寒さを吹き飛ばせ!

- 12月会議(定例) 2~4
 条例改正・補正予算
- 11月会議(臨時) 5
 請負契約
- 会議の出欠状況・議案に対する賛否 6
- 一般質問(17人)・その他の質問 7~16
- 「追跡」あれはどうなった? 17
- 常任委員会レポート 18~19
- あなたの一言(菊地 きくち 正男 まさおさん) 20

条例改正(案)などを可決

し尿汲み取り料金の大幅な値上げも

12月会議は12月9日から13日までの期間で開催されました。
 今回の会議では、一般質問を17人が行い、条例の一部の改正9件、補正予算7件、財産の無償譲渡1件などを審議し、原案のとおり可決しました。
 条例改正により、消費税率改正に伴う上下水道料金の消費税分の増額となるほか、し尿汲み取り料金は、21.3%の値上げとなります。

上下水道料金の改正

平成26年4月1日から消費税率改正に伴い、水道料金、下水道使用料の消費税を5%から8%に改正する条例が可決しました。

消費税増税分の値上げ

質疑 今回の消費税増税分の上乗せは、利用者にとって非常に打撃となるのでは。

答弁 消費税増税分の値上げをしないと、水道事業の利潤が縮小されてしまう。

正常な会計ができなくなる可能性があり、今回はあくまでも消費税が3%上がった分だけの料金改正を行うものである。

討 論

反対討論

広沢 真議員

水道・下水道は生活するうえで必ず利用しなければならぬ。町は消費増税にかかる経費は転嫁しない方針だ。消費増税は生活全般に影響があるこの時期に、上水道、下水道の値上げは影響が大きく避けるべきである。

賛成討論

高橋たい子議員

現行のままでは推移した場合、今回引き上げられる3%分の消費税を町負担で支払うこととなる。東日本大震災後の影響などで水需要に伸びがなく、給水収益の増大が期待できないことから、財源確保が難しい。改正はやむを得ない。

柴田町給水条例の改正（上水道料金）

・基本料金

メーター口径	旧料金	新料金
13mm	1,039円 50銭	1,069円 20銭
20mm	2,730円	2,808円
25mm	5,880円	6,048円
30mm	9,450円	9,720円
40mm	20,265円	20,844円
50mm	36,225円	37,260円

・水量料金（一般用）

利用量	旧料金	新料金
1～10m ³	105円	108円
11～20m ³	136円 50銭	140円 40銭
21～50m ³	178円 50銭	183円 60銭
51m ³ 以上	210円	216円

※料金は上記基本料金と水量料金の合計金額となります。ただし、その金額に1円未満の端数が生じたときは切り捨てて計算されます。

町営住宅条例の一部改正

交際中のDV被害者も入居が可能に

町営住宅に入居するためには同居、または同居しようとする親族があることが前提条件になっていました。今回の改正では、これまで事実婚を含む配偶者と元配偶者の暴力に限られていた対象が、交際中のDV被害者も入居が可能となる拡大改正を行ったものです。



一部条例改正のあった町営住宅



安全・安定が求められる水道

12月
会議

26年度 消費税率改正に伴

増える負担！ 消費税 5% → 8%へ

民営化へ！

「さくら苑」と「まごころホーム」は、柴田町が、「社会福祉法人常盤福祉会」に運営を委託し、デイサービス事業を実施してきました。

「さくら苑」と「まごころホーム」は、柴田町が、「社会福祉法人常盤福祉会」に運営を委託し、デイサービス事業を実施してきました。

平成12年から介護保険制度が始まり、老人福祉サービスを提供する民間の事業者も着実に定着してきました。町が設置主体となり老人デイサービスセンターを運営していくことは、民間事業者との競争を生む要因になるので、今回、民間の法人に移行することになりました。

財産の無償譲渡を可決

「さくら苑」の施設（建物）を「社会福祉法人常盤福祉会」へ無償譲渡する議案が提出され、全会一致で可決しました。

現在の「さくら苑」の建物は、常盤福祉会所有の土地を町が無償で借り受け、国と県からの補助事業で建設されました。

建設から10年以上経過した建物を民間に無償譲渡した場合、補助金の返還は生じません。



民営化される「さくら苑」

柴田町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

4月1日から

し尿汲み取り料金が値上げに

し尿収集、運搬及び処分に係る手数料について、平成26年4月1日から18ℓにつき税込み89円から108円に改正する条例が可決しました。

便乗値上げではない

質疑 消費税率が3割の増となるのに、し尿汲み取り手数料が21・3割の増となるのは便乗値上げではないか。

答弁 業者は、企業努力を続けてきた結果、25年間手数料を上げずにきた。しかし、燃料費の大幅なアップなど、現在の手数料では廃業せざるを得ない現状となっている。

県内の状況は、高い自治体で18ℓ279円、丸森町、角田市では144円で、県内全体としては高めで推移している。業者の経営が成り立つ委託料の値上げであり、便乗値上げではない。

討論

反対討論

白内 眞議員

消費税の値上げと同時に、し尿処理手数料を値上げするのは町民の生活に影響が大きい。町民への負担を増やすより、町民の利益と業者の利益を両立できるように、業務委託料を上げるべきである。

賛成討論

白内 恵美子議員

25年間手数料85円は、業者に我慢していただいた金額であり、値上げせざるを得ない。しかし、21・3割の値上げは利用者にとって大変なことであり十分な説明が必要。また、低所得者、高齢者世帯への救済措置を考えるべきである。

し尿汲み取り手数料の推移

年度	18リットル			180リットル			消費税率
	手数料	消費税	計	手数料	消費税	計	
平成元年度	85円	2円	87円	850円	20円	870円	3%
平成9年度	85円	4円	89円	850円	40円	890円	5%
平成26年度	100円	8円	108円	1,000円	80円	1,080円	8%

現時点での近隣市町の料金（消費税5%込）は、白石市・角田市・蔵王町・セツ宿町・丸森町が18ℓ当たり144円、柴田町・村田町・大河原町が18ℓ当たり89円。また、川崎町が18ℓ当たり98円です。

12月補正

3億3,781万円の増額補正！

予算総額

120億5,637万円



建て替えられる
三名生児童館

一般会計補正予算は、三名生児童館新築事業、一般町道維持管理費、河川管理費、槻木小学校放送施設改修工事など、総額3億3千781万の増額補正となり、原案のとおり可決しました。

元気臨時交付金増額へ

質疑 地域の元気臨時交付金4千493万9千円が増額されているが。

答弁 9月の補正予算で2億5千万円を示している

たが、今回、交付率が78.4割から83.3割に引き上げられたので増額となった。

また、新たに、小中学校の空調事業、

湛水防除、入ため池（上川名）の用排水の改修工事も元気臨時交付金の対象となり、増額の一因となった。その結果、町の借金が減ることとなった。

幼稚園就園奨励費の増加理由は

質疑 幼稚園就園奨励費が、昨年よりかなり増えているが、その状況は。

答弁 当初予算では、8園で265人という前年度実績をもとに積算していた。本年度の申請は、11園で町外の園も含め、346人の申請数となった。そのため81人増加分の924万2千円を補正することにした。

子ども医療費無料化の申請状況は

質疑 10月から中学3年生まで、子ども医療費無料化が始まったが、申請状況は。

答弁 学校を通して子どもたちに申請書を配布し、手続きをすることになっている。現在、対象者3千131人のうち602人が申請していない。今後、お知らせ版や学校を通じて周知広報に努めていく。

平成25年度12月会議 補正

会計区分	補正額	補正後の額
一般会計	3億3,781万円	120億5,637万円
特別会計	国民健康保険事業	44億9,171万円
	公共下水道事業	△2,440万円
	介護保険	24億9,313万円
	後期高齢者医療	△286万円

放射性物質吸収抑制剤（塩化カリウム）が補助金対象へ

質疑 稲作総合対策費の消耗品費が1千309万4千円の減額となり、同額で放射性物質吸収抑制剤対策事業補助として計上されている。その理由は。

答弁 塩化カリウムを消耗品としていたが、特別交付税の対象とするため、補助金とした。

一般会計の補正による主な内容

三名生児童館新築事業費	1億6,085万円
一般町道維持管理費	6,223万円
河川管理事業費	5,020万円
槻木小学校放送施設改修工事費 槻木中学校教室間仕切り工事費	408万円

補助金にすることにより、配送料と消費税分も含めて補助することができ。

槻木五間堀川のしゅんせつを実施

質疑 五間堀川のしゅんせつ委託料として1千970万円とあるが、区間はどこか。

答弁 関根堀川合流付近から、大江堀の合流地点までの予定である。

11月会議

11月11日
開催

(仮称)船迫こどもセンター

いよいよ着工へ!



質疑 床材は杉材の使用を提案していたが、見解は。

答弁 いろいろ検討した結果、一部にコルク材を使用し、他はブナ材を使用する。

質疑 床暖房の範囲は。

答弁 床暖房は、多目的ホールとトイレと倉庫以外につくこととなる。

質疑 床暖房のランニングコストは。

答弁 年間30万円を見込んでいる。

11月会議は専決処分1件、その他契約案件5件について審議され、原案のとおり可決しました。

契約案件は、(仮称)船迫こどもセンター新築について、また、道路関係では、町道富沢16号線の一部区間の盛土工事、町道八入13号線外舗装修繕工事について審議しました。

(仮称)船迫こどもセンターの床仕様は

町内業者は入札に参加したのか

質疑 町道舗装修繕工事に町内の入札参加業者が1社もなかった。再生にかかわる技術を、町内の業者が持っていないから、町外の業者が参加したのか。

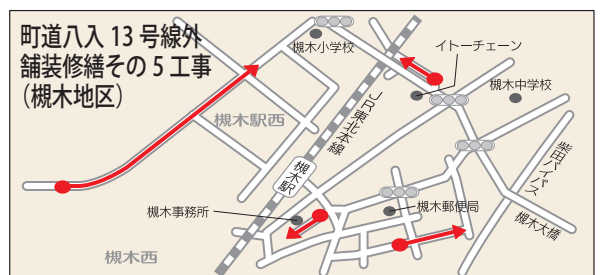
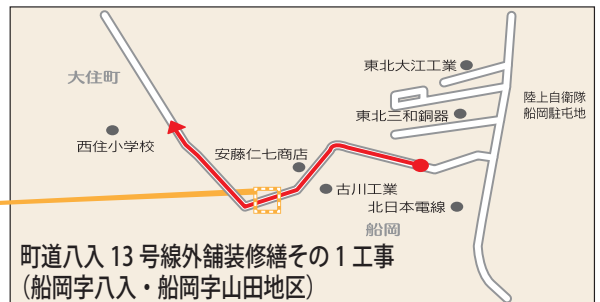
答弁 町内には該当する業者が2社あるが、総合建築業の会社である。舗装という特殊な機材を必要とすることから、その2社からは入札の申し込みがなく、県内の7社が入札に参加した。

質疑 道路区画線の引き方について基準があるのか。

答弁 区画線については、路線が広く、2車線とれるところには、センターラインを入れることが可能である。狭いところについては外側線、外線だけ引く場合がある。現状回復が基準である。

11 月会議契約案件の内容

契 約 名	金 額	備 考
(仮称) 船迫こどもセンター新築工事	1 億 8,060 万円	建築工事
(仮称) 船迫こどもセンター新築工事	5,741 万円	電気設備工事
町道富沢 16 号線道路改良工事	7,717 万円	町道富沢 16 号線 (五間堀川から入間田字塩付近まで)
町道八入 13 号線外舗装修繕その 1 工事	7,654 万円	町道八入 12・13 号線
町道八入 13 号線外舗装修繕その 5 工事	5,197 万円	槻木地区の町道 4 路線



本会議出欠状況・議案等審議結果

●本会議出欠状況

区分	主な内容	月日	出席者数△	出欠状況																
				平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	齋藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	高橋たい子	安部俊三	佐々木守	広沢真	有賀光子	水戸義裕	舟山彰	白内恵美子	我妻弘国	星吉郎
(平成25年度)11月会議	本会議	各種契約	11.11	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(平成25年度)12月会議	本会議	町政報告、一般質問	12.9	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	12.10	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	12.11	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		条例、財産の無償譲渡、指定管理者の指定	12.12	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		補正予算	12.13	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表しています。
 ※平成25年4月から通年議会が始まり、会議の呼び名も〇月会議となりました。

●議案等審議結果

区分	件名	議決月日	賛成者数△	賛成△	議決結果	表決状況															
						平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	齋藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	高橋たい子	安部俊三	佐々木守	広沢真	有賀光子	水戸義裕	舟山彰	白内恵美子	我妻弘国
(平成25年度)11月会議	平成25年度(仮称)船迫こどもセンター新築工事(建築工事)請負契約について	11.11	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成25年度(仮称)船迫こどもセンター新築工事(電気設備工事)請負契約について	11.11	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成25年度町道富沢16号線道路改良工事請負契約について	11.11	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成24年度町道八入13号線外舗装修繕その1工事(線越明許)請負契約について	11.11	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成24年度町道八入13号線外舗装修繕その5工事(線越明許)請負契約について	11.11	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
(平成25年度)12月会議	柴田町町税条例の一部を改正する条例	12.12	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	柴田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	12.12	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	柴田町デイサービスセンター条例を廃止する条例	12.12	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	柴田町地域福祉センター条例の一部を改正する条例	12.12	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	柴田町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	12.12	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	柴田町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	12.12	17	15	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否	○	○	否	○	○	議
	柴田町営住宅条例の一部を改正する条例	12.12	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	柴田町下水道条例の一部を改正する条例	12.12	17	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否	○	○	○	○	○	議
	柴田町給水条例の一部を改正する条例	12.12	17	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否	○	○	○	○	○	議
	財産の無償譲渡について	12.12	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	指定管理者の指定について(柴田町地域活動支援センター)	12.12	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	指定管理者の指定について(柴田町駐車場及び柴田町自転車駐車場)	12.12	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成25年度柴田町一般会計補正予算	12.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成25年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算	12.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	平成25年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算	12.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成25年度柴田町介護保険特別会計補正予算	12.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
平成25年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算	12.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
平成25年度柴田町水道事業会計補正予算	12.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
平成25年度柴田町一般会計補正予算	12.13	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表します。
 ※「議」は表決時に議長のため、また「-」は表決時に議長にいないため表決に参加していないことを表します。

一般質問



ズバリ

あなたにかわって

ここが聞きたい

Q & A



一般質問は12月9日から11日までの3日間で行われ、17人の議員が質問しました。質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。答弁者は、滝口町長、平間副町長、阿部教育長及び各担当課長等です。



平間奈緒美 議員

Q 国の予算を積極的に活用すべきでは

A 積極的に活用し、町負担の軽減に鋭意努力している



町による「予算公開ヒアリング」(槻木地区)

問 26年度予算に盛り込む新規事業と重点施策は、**答** 26年度政策財政運営の基本方針での政策目標「快適で質の高い生活環境の整備」を達成するため、重点事業を掲げてた。主な事業として、新築6号公園整備事業、北船岡町営住宅3号棟建設事業、槻木小学校プール新築事業、ほ場整備事業、空き地・空き家条例の検討、健康づくりポイント制度などを予定。重点施策は道路整備、

水害対策、教育や子育て環境などの基本的なインフラ整備を進めていく。**問** 住民の要望をどう反映していくのか。**答** 広報広聴活動などを通じ、町民の意見を反映している。今回新たに、予算公開ヒアリングを開催した。多くの意見を参考に予算編成に取り組んでいく。**問** 消費税が8%となる。住民への負担は。**答** 財政再建時に負担増にした住民票や戸籍など

の手数料金改定は行わない方針。ただし、し尿処理の手数料や上下水道使用料金などは改定する予定である。**問** 国の予算を積極的に活用すべきでは。**答** 当該事業内容に合致する国や県の補助金などを積極的に活用し、また、国や県の施策に迅速、的確に対応しながら、町負担の軽減に鋭意努力していく。さらに、国の動きを注視していく。



舟山 彰 議員

Q 東日本大震災を
忘れないように

A 町では様々な場を通じて
対策を説明している



拡声器のついた公用車

東日本大震災から2年半以上がたった。大災害を忘れないように、改めて町の防災対策について問う。

問 8月に行った議会懇談会（対象、町婦人防火クラブ連合会）では、災害時の広報車についての意見が多くあった。町は大震災後、防災対策について婦人防火クラブに意見を聞いているのか。

また、広報車などについて町の対策の周知度が低いという印象を持ったがいかがか。

答 町では、町民と様々な場を通じて意見交換を行った。婦人防火クラブに対しても理事会において説明した。しかし、町の懇談会などに不参加だった一部のクラブ員には理解されていないことが判明したので、今後、機会ある都度、説明に努める。

問 「広報車を増やしてほしい」「広報車の声が聞こえなかった」という意見や要望に対し、町の回答は「職員が足りず時間的問題で困難」「広報車が

近くに回ったら、屋外に出たり窓を開けて広報内容を確認してもらえれば幸い」。この回答では何も変わらないのではないか。

答 町では、緊急時の情報伝達の手段として、緊急お知らせ版を発行している。最低限の情報は、紙ベースで区長を通じて各家庭に配布することを徹底したい。

問 国のがん検診の受診率は、全て25%以下で、先進国では最低である。平成23年度の柴田町では40歳以上の受診率は27.1%であった。早期発見、早期治療の観点から、受診率の向上を図るべきでは。

答 先進自治体の取り組み事例などを参考にし、未受検者の受診行動につながる効果的な個別再受診勧奨、リコールなどを行い、受診率の向上を図っていく。

問 胃がんの原因の95%はピロリ菌であることが判明している。胃がんのリスク検診は、採血による血液検査で、胃がんそのものではなく、胃がんになりやすいかどうかを判断し、胃がん発症リスクの高い人に対してピロリ菌の除菌を勧めるものである。食事の制限もなく、わずかな血液をとるだけで診断が可能で、早期がんの発見率が高いというメリットもある。そこで、ピロリ菌検査を

実施してはどうか。

答 今後リスク検査を実施している自治体の検査内容や、国の有効性検討の動向などを踏まえ、医療機関や検診委託機関との調整を図りながら検討する。胃がんのリスクはピロリ菌だけではなく、食生活や喫煙によるリスクが大きくなることから、引き続き食事や生活習慣の改善についての1次予防の啓蒙、啓発に努める。

Q 胃がん検診の受診率アップ
とリスク(ABC)検診の
導入を

A 前向きに応えられるよう
検討する



吉田和夫 議員

胃の健康度ABC分類 検査結果チャート

検査項目	測定結果	判定	ABC分類
ヘリコバクター・抗H.pylori抗体	2.7	陽性	+
ペプシノゲン	2.5	正常	-
ペプシノゲン/クレアチニン	2.5	正常	-
ペプシノゲン/クレアチニン(推定)	2.5	正常	-

ABC検診

ペプシノゲン	陽性	A
ペプシノゲン	正常	B
ペプシノゲン	正常	C

リスク検診検査票



高藤義勝 議員

Q Jアラートについて

A 防災無線や野外拡声器への連動を視野に入れて検討していく



庁舎2階に設置されているJアラート

問 Jアラートは平成19年に運用開始し、平成28年度末までに全市町村への整備を終える予定である。平成25年5月現在、全国1千742団体のうち1千359団体が自動起動装置を設置している。町では、9月補正予算で防災設備工事として2千300万円弱を確保し、受信・発信機能及び拡声装置の充実を図ることであった。

答 現在の装置は庁舎の回転灯ランプ点灯と館内音声放送となっており、稼働の確認をした。

問 9月定例会議では、発信・受信機能及び拡声装置の充実を図るとのことだったが、進捗状況は。

答 登録制メール、緊急メール以外では、Jアラートの自動起動装置を発注した。将来は、防災無線や野外拡声器への連動も検討している。

問 真夜中の防災対策として最近注目されている

のに「防災ラジオ」がある。この商品は充電しておけば、電源オフでも強制的にオンになり、停電時にはバッテリーで可動。さらにLEDライト搭載で5千円位で開発されているが、各家庭に設置を検討しては。

答 各家庭への設置は厳しい。それより自助の協力をお願いし、テレビやメールで確認を進めたい。

問 槻木地区への事業展開が少ないという意見があるが、このことについて問う。

答 ここ数年の槻木地区での事業は、むつみ学園の移設、槻木中学校の改築を始めとする教育施設の整備、富沢16号線など道路の整備、水害対策などに予算を投じた。柴田町の均衡ある発展を目指し、バランスのよい予算配分を常に心がけている。平成26年度には(仮称)槻木まちづくり研究会を

立ち上げ、議論していく。

問 新しい給食センターは町単独で建設することになったが、槻木地区へ建設してはどうか。

答 建設用地の確保、公共下水道への接続、学校との距離の配慮など、この要件を満たすことが、判断のポイントとなる。槻木地区も含めて、町内で要件を満たす場所を選定していく。

問 平成26年度に給食センター1建設基金を創設すると表明しているが、確

かか。

答 平成25年度一般会計歳入歳出決算を踏まえて、平成26年度内に建設等整備基金を創設して、積み立てていく。

問 有料老人ホームや、サービスタック高齢者向け住宅などを、槻木地区へ誘致できないか。

答 次期介護保険事業計画策定時には、有料老人ホームや、サービスタック高齢者向け住宅の整備を盛り込んでいく。

Q 槻木地区の活性化をどう考えるか



高橋たい子 議員

A (仮称)槻木まちづくり研究会を平成26年度に立ち上げ、議論



より均衡ある発展を目指し、議論される槻木地区



佐々木裕子 議員

Q 道路交通法改正の周知及び標識・標示の徹底を

A 計画的に責任を持って実行していきたい



元気に自転車登校する子どもたち

今年、全国で自転車による事故が多発し、大きな事故も発生している。未成年者の自転車事故をめぐって、7月に神戸地裁で、親に対し9万5000円と高額賠償の支払いを命じる判決が出ている。自転車は、免許なしで気軽に乗れる一方、歩行者にとって凶器になり得る。事故を起こした場合の代償は大きい。

問 今回、道交法の改正で、交通指導員が自転車走行中の指導を行っているが、各学校で法改正の周知はなされたか。

答 12月1日からの道交法改正は、自転車運転者に対する強化罰則である。周知は、各家庭に保険の加入も含めチラシを配布する。1月1日のお知らせ版で自転車の右側の路側帯通行禁止を掲載する。2月広報紙で全体的な交通安全の啓発を行うなど、重層的に考えている。

問 路側帯と歩道の区別を子どもは分かっているか。

答 交通安全教室で、区別を指導していく。

問 子どもたち自身を守るため、路側帯や一時停止、止まれの標識・標示などを見直す必要があると考えるが。

答 計画的に確認・準備し、設置や線の書き直しなど、町として責任を持って実行していきたい。



白内恵美子 議員

Q (仮称)さくら連絡橋スロープの勾配12%は問題があるのでは

A 色々な制限・制約があり、12%でも止むを得ない



白石川から見た工事現場

問 バリアフリー法では、傾斜路の勾配は8%を超えないこととしている。建設予定の(仮称)さくら連絡橋のスロープの勾配は12%であり、この法律に反するのでは。

答 バリアフリー法の基準は、特定道路等の限定された施設に適用されるもので、違反していない。

問 このスロープは誰のためにつくるのか。

答 「多くの人に歩いていただける」というコンセプトでつくる。障害のある方、お年寄り、小さいお子さんをお持ちの方にも利用していただきたい。

問 最初は、車椅子の方も渡れるように、との考えだったのではないかと。

答 色々な制限、制約があり、勾配12%でもやむを得ないとなった。ただし、介助者が必要であり、ソフト面での十分な配慮が必要だ。自ら手を貸す分かりやすい表示で誘導することが重要だと思う。

問 全国的に勾配が12%のスロープはあるのか。

答 確認はしていない。

問 自走式の車椅子の勾配限界8%を超えて建設し、万が一事故が起きた場合は、国家賠償法第2条により町に賠償責任が生ずるのではないかと。

答 事故が起きた場合は、管理者の瑕疵がどの程度あるか、責任の所在が明らかになる。想定外の事故が起きないように、利用者の注意を促す方策に万全を期したい。



佐々木守 議員

Q 空き家・空き店舗の活用について

A ワーキング委員会で、空き店舗を活用する方策を検討し、商店街の抱える状況を改善していく



環境整備が進む街並み

問 当町も高齢者世帯が増え、それに伴って子どもたちと同居を希望し、空き家となるケースが増えているが、対策は。

答 空き家対策としては、一般住宅の空き家は想定していない。空き店舗を検討している。なぜ空き店舗が発生するかという根本を考えた上で対策を講じないといけないと思っている。

問 現在、町が取り組んでいる空き家・空き店舗活用の対応とは。

答 町では商工会と連携し、本年度から空き店舗を活用した起業化支援事業を実施している。事業を実施するに当たっては、商工会正副会長、各部長、青年部、女性部長、専門家の9人による事業委員会と、町内8商店会の代表者及び町職員の9人によるワーキング委員会を組織した。

問 商店街の抱える状況を改善することを旨として、調査事業や研修事業、研究事業に取り組んでいる。取り組み結果については、来年3月までに報告書にまとめ、今後の事業に反映させていく。

答 活用できる助成制度、先進事例などの情報提供を行い、商店街とさまざまなネットワークを持ちながら、経営能力が高められるよう支援を行っていく。



桜場政行 議員

Q 地域包括支援センターの基盤強化をどう考えているか

A 人員体制を検討し、必要に応じて体制の強化を図りたい



福祉センター内にある地域包括支援センター

団塊の世代が75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれている。このため、厚生労働省においては、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができよう、地域の包括的な支援・地域包括ケアシステムの構築を推進している。

問 地域包括支援センターは、地域包括ケアシステム実現に向けた中核的な機関として、町から委託を受けて設置している。今後ますます重要となる地域包括支援センターの基盤強化を、どう考えているのか。

答 体制強化が必要と考え、今後の介護保険の改正に合わせ、人員体制などを検討、必要に応じて体制の強化を図りたい。

問 地域包括支援センターで大変重要なことは、ネットワークの構築と考えるが。

答 関係機関のネットワークが大変重要である。コデイネットを地域包括支援センターが担っている。100近い機関とのネットワークを組織し、研修会を催している。

問 月1回のみならず、常に町と地域包括支援センターが連絡を密にして、諸問題に対応している。



安部俊三 議員

Q 全国学力テストの公表に対する対応について

A 今後、教育上の影響も考え慎重に判断していく



日々の授業の充実が大切（西住小学校）

問 文部科学省は、来年度から全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）を、区市町村教育委員会を、区市町村教育委員会の同意を条件に、区市町村別や学校別の成績公表を認めることとした。結果の公表は、慎重な対応が求められる。

答 全国学力テストの結果、まず役割をどう捉え、学力向上に活かしてきたのか。

問 町内各学校では、調査結果を分析し、課題を明確にして具体的な指導

や対策を立て、学力向上に役立ててきている。

問 本町では、調査結果の公表に、どう対応しているのか。

答 今年度は、「全国や県の正答率を上回っている、下回っている」という表現で説明していく。

来年度については、今後、教育委員会の会議の中で検討する。

問 本町教育委員会で、公表についての検討、協議はされてきたのか。

答 話し合いはしている

が、まだ、今後の方針は定めていない。公表によつて、序列化や過度な競争が起こる恐れがあることが指摘されているので、保護者の意見も伺い、教育上の影響も考えて慎重に判断していく。

問 校長会で、公表に関する協議はされているのか。

答 校長会で何度か意見を聞いている。町、各学校別も、平均正答率の数値で公表するのは、慎重にすべきという意見が多数である。

公共施設の整備が次々実施されている。今後の施設整備と財政健全化の両立について伺う。

問 財政再建プランの実施で危機を脱した。これまでの整備方針について伺う。

答 町民や議会の協力で我慢や痛みを乗り越えて、財政の健全化に努め、財源を確保し、道路、学校、町営住宅などの建設ができた。

また、21年度からの10

5年で72%の進捗率。生活環境の整備を基本方針に実行してきた。

問 施設整備をハコ物行政とか借金へ逆戻りだと批判の声が聞こえるが。

答 平成15年に約156億円の町債残高が平成23年には約115億円に減少。借金の増はない。間違ったチラシが撒かれたようだが、「入るを量って出ざるを制す」といった財政規律を守り、機動的な財政運営を心がける。

問 現在進行中と今後予

定の大型事業がある。健全財政とインフラ整備など、行政サービス充実の両立についての考え方は。

答 今後、老朽化したインフラの再整備や体育館、給食センターなど、大型事業の実施には優先順位をつけ、将来の財政悪化を招かぬよう十分配慮する。財政健全化判断指標に留意し、起債や基金を管理し、町民の要望に応えられるよう、町総合計画及び実施計画に沿った整備を心がけていく。

Q 健全財政と行政サービスの両立をどうするか



水戸義裕 議員

A 将来、財政悪化を招かぬよう十分配慮する



防災拠点施設（総合体育館）建設予定地

問 県道52号亘理・村田線は東北縦貫道につながる大切な産業道路ではないのか。軟弱地盤であるが、地域づくりや道路沿線の活性化のためにもぜひ企業誘致が必要では。
答 工業適地については現在10鈔ある。村田インターまで10鈔、仙台空港まで19鈔、槻木駅まで500鈔であり、立地条件も大変良い。土地は軟弱地盤であるが、それらを説明しながら企業誘致を一生懸命にしていく。

問 ある企業が槻木に土地がほしいという話があったが、土地が軟弱であることから断念したと聞いた。町が盛土やパイプ打ちなどを補助して、企業誘致をもっと前向きに考えてはどうか。
答 新しく企業が来た場合の企業立地奨励金を、現在1億3千万円支払っている。今後、槻木地区の軟弱地盤に企業を誘致する際、新たに町が補助するにしても、どのような方法があるか検討しな

ければならない。軟弱地盤対策として事前に新しい工場へ奨励金を出す方法もあるが、タイミングが難しい。また、町がどこまで体力的に補助できるか検討していかねばならない。補助することで経常収支を圧迫することになるかも知れないので、ご理解をいただきたい。

Q 県道52号亘理・村田線沿線への企業誘致は



星 吉郎 議員

A 軟弱地盤のため、どのような方法があるか検討



県道沿線の利活用を



広沢 真 議員

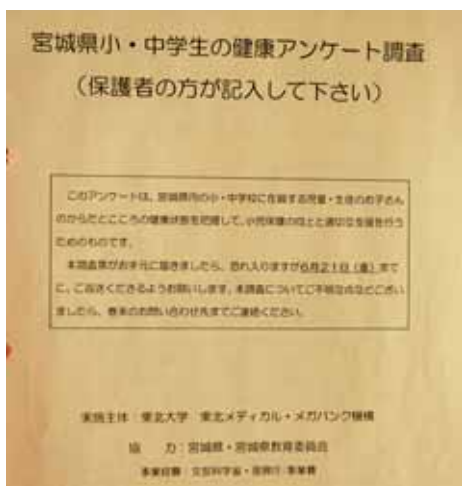
Q 東北メディカルメガバンクの健康調査協力は慎重に

A 協力の協定は一部に限定している

問 国と東北大学が平成23年10月から東北メディカルメガバンク機構を立ち上げて、被災地の住民を対象に地域住民コホート調査（地域を指定して住民の遺伝子情報を集めて遺伝と疾病と関連を調査研究する）を行っている。報道によると柴田町も協力の協定を結んでいる。
問 協定を結んだ経緯は。
答 平成24年9月にメガバンク機構長が来町し、被災地の医療復興や住民の長期的な健康向上のため、調査研究に協力をし

てほしいと説明があった。
問 協定の内容と町民への周知は。
答 地域住民コホート調査の協力は実施していない。町民への周知も行っていない。
問 協定の内容は。
答 三世代コホート調査と地域子ども長期健康調査に対し協力する。その内容は、三世代コホートは産婦人科医療機関で妊婦とその家族の同意を得て問診、血液検査などを

行う。地域子ども長期健康調査は小2、小4、小6、中2の各学年の保護者に対し調査票を送付し、回答は保護者の判断に任せている。
問 究極の個人情報である遺伝子を扱うことに対する周知は。
答 正直、調査協力の身を限定したのは、周知ができるか不安があるため、限定して協力にとどめた。



地域住民コホート調査用紙（サンプル）

まちづくりは他の町を真似るのではなく、柴田町の資源を活かしたものにしなければ長続きしない。その意味で文化財の現状を見ると課題が多い。

問 館山は史跡館跡に指定されているが、活用策は。

答 昭和44年10月6日に鎌倉期以降の城址で指定している。館跡や段の形を保全する。原田甲斐や柴田外記の慰霊碑、絹引の井戸などの解説板の改修を優先し、次に土塁や石塁の活用も考えていく。

問 文化財を守るマニュアルが必要ではないか。

答 柴田町文化財保護条例を制定している。船岡城址を調査して「城と館」という本にした。活用して現地を保存していく。

問 飯淵七三郎翁の銅像復元をどう考えるか。

答 桜の植樹の他にも船岡用水堰の新設・延長に私財を提供されるなど貢献をいただいているが、公共性・公平性から公費の支出はできない。

問 みだれ坂の活用、御霊屋の紹介や整備は。

答 平成22年の整備計画で検討したが、民地があるので断念した。全体の形づくりができれば、明らかにしていきたい。

問 小室達氏、大池唯雄氏や山本周五郎氏の小説の紹介コーナーは。

答 小学校の副読本で取り上げているが、しばたの郷土館の壁面や空間を探して、パネル展示ということも検討したい。

柴田町の文化財はこのままで良いのか



秋本好則 議員

史跡は保護し、人的資源は展示を検討する。歴史資源を活かしていく。



元禄時代の「舟岡要害屋敷敷図」の一部(宮城県図書館蔵(複製))



平間幸弘 議員

小中学校の樹木管理は

伐採も含めた樹木の選別と管理方法を検討し、計画的に整備する

町内小中学校9校の樹木管理について、学校側からは予算も少なく、樹木の剪定や、手入れが十分ではない状況と聞いている。

問 PTAや学校支援ボランティアなどで、毎年低木類は剪定しているようだが、松など専門性を要する樹木や高木の管理状況は。

答 各学校年間5万円の中で剪定計画を立て、管理している。松や高木の管理は、器具機材や専門

性を要することから、教育総務課の委託予算100万円の中で、状況に応じた剪定と処分を行っている。

問 美しいまちづくりを進める町として、子どもたちの情操教育のためにも学校の樹木もきれいに手入れされていることが大事では。

答 学校敷地内の環境整備は重要と考えられ、樹木などもその中に含まれており、対応しなければならぬ項目と捉えている。記念樹や寄贈木など

もあり、今後、学校と調査確認を行い対応する。

問 関連で、美しいまちづくりを進める町として、学校にもぜひ花を植える予算措置を。

答 25年から消耗品の中で種子代の計上を考えていた。今後予算に上限はあるが、学校の意見を聞きながら、教育総務課でまとめ、財政課との調整にあたる。



剪定が待たれる松の木 (西住小学校)

問 ハザードマップ、避難態勢など、住民への周知のあり方は。

答 洪水ハザードマップと地震マップを一緒にし、防災マップとして平成22年3月に作成し、全戸に配布している。住民が防災に関心を持ち、自主防災組織で実施している訓練に参加し、防災意識を深めていくことが大切である。

問 緊急時の避難勧告、災害メールなどの情報伝達のあり方は。

Q 防災対策について



有賀光子 議員

A 住民が防災意識を深めていくのが大切

答 情報伝達の手段として、防災無線で区長、消防団へ、広報車や消防車両で地域住民へ、災害配信メールでメールアドレス登録者へ、ホームページでインターネット利用者へ、携帯電話によるエリアメールで災害情報を配信し、広報などを行う。

問 災害弱者といわれる高齢者、特に要支援者への現場での対応は。

答 災害要援護者名簿に登録しているのは731人。今後は、要支援者が支援



住民参加の柴田町総合防災訓練（西住小学校）

を待っているだけでなく、防災訓練などに積極的に参加するなど、自ら地域の中に溶け込んでいける環境づくりに協力している。

問 防災会議のメンバーの中に、女性は登用されているか。

答 現在は男性だけである。今後は、女性の意見を取り入れた委員構成にしていきたい。



我妻弘国 議員

Q 漫画「はだしのゲン」についてどのような議論がなされたのか

A 議事として取り上げて協議したことはない

問 作家は、原子爆弾が広島に落とされたときから、原爆の後遺症や悲惨な生活を読者に訴えている。また、本の中には残酷な行為の場面なども含まれているとの理由から、松江市教育委員会では自由に閲覧できない閉架にしたが、閲覧制限は批判の高まりを受け撤回した。柴田町図書館では自由に閲覧できるが、柴田町教育委員会ではこの問題についてどのような議論が交わされたのか。

答 教育委員会として「はだしのゲン」を議事として取り上げ協議したことはない。現在、町内7校の図書館と1校の職員室にあり、児童・生徒への閲覧や貸し出しを行っている。表現や内容を理由として閲覧制限をしていることはない。今後、学校や教育委員会に意見がある場合には、教育委員会として議論が必要と考えている。

問 松江市で「はだしのゲン」が閉架になった理由に、正規の司書がないことがある。正規でないといろいろな研究会に出席し勉強することができない。そういう意味でも、頑張つて正規の司書を採用してはどうか。

答 来年は、任期つきの司書で対応し、歳入が増えれば、次に人材育成をすることになる。



増えている図書の貸し出し（柴田町図書館）

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

平間奈緒美 議員

- 問** 本格的な図書館建設に向けてのビジョンを固める時期では、検討は進んでいるのか。
- 答** 長期的な財政を考慮し、サポート委員会と視察を重ね、最適な柴田町バージョンを検討。

舟山 彰 議員

- 問** 新聞に部活でのけがのことが載っていた。町内の学校での件数とその種類は。
- 答** 本年度11月現在30件で、打撲、靭帯損傷、挫創、筋断裂などである。
- 問** 議会の常任委員会や各会派の視察研修の報告書を執行部はどう扱っているのか。
- 答** 委員会については翌年配布を受け、政策立案の参考にさせていただいている。

吉田和夫 議員

- 問** 槻木地区（下町～四日市場）の街路灯・防犯灯の整備を。
- 答** 平成26年度に、槻木市街地を中心に100灯規模で、既存防犯灯のLED化を進める。

斎藤義勝 議員

- 問** 特別警報が発表された場合の取り扱いは。
- 答** 地域、地勢を考慮し特別警報に捉われず、早目に住民にお知らせして対応していただく。

白内恵美子 議員

- 問** しつけと体罰の違いを学ぶため、虐待問題の専門家である西澤哲教授の講演会の開催を。
- 答** 虐待予防の共通認識を持つことは重要であり、専門の講師による講演会開催を検討する。
- 問** 小中学生の学力向上のため、各学校へ司書の配置と、教育委員会に指導主事の配置を。
- 答** 遅れていた教育施設整備が軌道に乗った。人件費を増やせば公共事業ができなくなる。
- 問** 放射性物質が多く含まれる「路傍の土」が問題になっている。校庭や公園を測定すべき。
- 答** 現在の除染基準は空間放射線量であり、土の基準はないため町の判断では測定をしない。

佐々木 守 議員

- 問** 土砂災害警報等のシステムは構築されたのか。
- 答** 関係機関と連携して、災害危険箇所の実態把握や対策について協議、検討を行う。

水戸義裕 議員

- 問** 農村の環境条件整備と米づくりの生産性の向上を図るほ場整備事業の説明会の反応は。
- 答** 今回は、集落の中心的な人達への説明。反対はなく、主に区域や期間等への意見だった。

星 吉郎 議員

- 問** 農機具購入の補助は、どのように実施しているのか。
- 答** 担い手の水田用農機具の1/4の補助を実施している。

広沢 真 議員

- 問** 障害者総合支援法では障がい者が65歳になって利用できなくなるが対策は。
- 答** 介護保険優先原則はあるが、介護保険で対応できない場合は、利用できるようにしている。

平間幸弘 議員

- 問** 公共サインの整備について、間伐材などを利用し、安価に早急な整備をできないか。
- 答** 間伐材の利用は可能だ。26年度の地域計画の中で各地域の要望を取り入れ、整備する。
- 問** 大型ほ場整備を進めるうえで、貸し手側、借り手側の双方にメリットのある施策を。
- 答** ほ場整備の調査期間中に、貸し手、借り手の小作の条件なども検討することになる。

有賀光子 議員

- 問** 乳がん・子宮頸がん無料クーポンの未受診者のために、コール・リコールの導入を。
- 答** 無料クーポン対象者、一般対象者へと、受診率向上のためコール・リコールに取り組む。

我妻弘国 議員

- 問** イノシシの被害防止をどうする。
- 答** 柴田町農林作物鳥獣被害対策事業費で防護柵設置の補助や捕獲する事業に努める。

「追跡」あれはどうなった？

常任委員会の指摘事項や議員が一般質問で行った提言がどうなったかを、「追跡」というテーマで取り上げることになりました。今回は、子育て支援対策の現状と、町内で被害が拡大しつつあるイノシシ対策について、その対応や取り組みを紹介いたします。

子育てしやすい環境づくりは どうなった 子育て支援策

町では、子育て支援環境の充実を図るため、様々な施策に取り組んでいます。ハード面では、子育て支援機能を持つ複合施設として（仮称）船迫こどもセンターの新築工事がいよいよ始まりました。

さらに、子どもたちが自由に来館できる地域児童館として、三名生児童館の新築工事も決定し、工事が進むこととなっています。

柴田児童館は、耐震補強や改修工事が終了し、いよいよ第二たんぼ幼稚園として4月より開園いたします。

ソフト面では、安心して医療が受けられように中学3年生まで医療費助成を拡大、安心して受験に望める

よう中学3年生を対象にインフルエンザ予防接種費の助成にも取り組んでいます。

これからも待機児童解消など、安心してこの町で子育てができる環境整備が一層進められるよう、議会で提言していくことにしました。



3歳児学びサークル「さくらんぼう」(船迫公民館)

急増するイノシシ 町の取り組みは

イノシシ 捕獲実績 7月～12月末	頭数	主な捕獲場所
	51頭	富沢、入間田、葉坂、西住、船岡根形など



近年、イノシシによる農作物被害が町内各所で発生しています。

町では、柴田町鳥獣被害対策実施隊（10人）と協力し、目撃情報があった付近への箱罠設置などで個体数調整を実施しています。平成25年10月から柴田町農林作物鳥獣被害防止対策補助事業を進めています。事業内容は、電気柵の設置や防護柵資材購入費（2分の1補助・限度額は10万円）を補助対象とし、被害防止対策に取り組んでいます。12月末までに5件申請がありました。

今後も個体数調整などを実施し、被害減少に向けて取り組んでいきます。



箱罠を設置する鳥獣被害対策実施隊

イノシシへの対応と注意

- ①刺激しないでその場を離れてください。
- ②えさは与えないでください。

目撃したら、下記へ連絡してください。
農政課 ☎55-2122

議会からの指摘事項（所管事務調査報告書）

常任委員会レポート

各常任委員会は
各課の仕事を
調査しています。

総務

■ 調査日 平成25年9月18日・19日
■ 調査事項

- ①交通安全施設等の新設及び改良状況について
- ②デマンド型乗合タクシーにおける利用状況と予約センターについて
- ③防災・減災対応製品について（積水樹脂株）行政視察

歩行者の安全対策を

《まちづくり政策課》

○国道4号線柴田バイパスを横断する各地下道には、ポールコーンを設置し安全対策を講じているが、さらなる強化を進めること。

○町道槻木163号線は、一部の区画線が、センターラインと誤認識される可能性もあることから、歩行者の安全対策を徹底すること。

○デマンド型乗合タクシーについては運行開始から1年を経過し、順調に登録者及び利用者数を増やしている。利用者からの要望や苦情は迅速に対応し、さらなる利用促進に努めること。



積水樹脂(株)での行政視察

文教厚生

■ 調査日 平成25年10月10日・11日
■ 調査事項

- ①学校備品・器具等の整備状況について
- ②通学路の安全確認について
- ③学校からの要望について

発達障害のある子どももの 社会性を伸ばす環境を

《教育総務課》

○司書の配置により、児童の図書利用が伸びていることから、全校に司書の配置検討を。

○通学路の安全確認については、総点検を実施し、交通状況の変化に対応すること。

○近年、発達障害のある子どもへの対応が課題となっている。特別支援教育支援員を増員し、学習面や社会性を伸ばす環境を整えること。

○学校施設の整備については高額の費用がかかる場合もあり、学校だけでは対応が難しい。所管課は予算配分や改修計画などの助言及び提案を積極的に行うこと。



学校の整備状況は（柴田小学校）

産業建設

■ 調査日 平成25年10月10日・11日
 ■ 調査事項

- ① (仮称) さくら連絡橋工事の進捗状況について
- ② 第1回曼珠沙華まつりについて
- ③ 大規模園芸経営体育成事業について
- ④ 宮城県阿武隈川下流流域下水道・県南浄化センターの復旧状況について (行政視察)

次回の曼珠沙華まつりは 相乗効果を得る工夫を

《都市建設課》

○ (仮称) さくら連絡橋工事の施工にあたっては、安全第一を心がけて進めること。

《商工観光課》

○ 曼珠沙華まつりは、初めての実施にも関わらず多くの来場者があり、評価に値する。今回は複数のイベントとの連携を図り、相乗効果を発揮するよう工夫を。

《農政課》

○ 高齢化、担い手不足などの課題を解決するため、今後も、大規模園芸経営体育成事業などを活用し、本町の農業を推進していくよう、支援を強化すること。



曼珠沙華を手入れするボランティア

議会運営委員会

大災害時の議会・議員の対応を定めた「柴田町議会災害対策本部設置要綱」と「柴田町議会災害対策行動マニュアル」について、議会議員全員協議会から案を作成するよう議会運営委員会に委ねられていた。

議会災害対策本部設置要綱(案)作成

平成25年11月5日から4回協議を行い、議会運営委員会としての案を取りまとめた。特に「町災害対策本部」との兼ね合いから、総務課長・危機管理監に意見をもらうなど条文の文言を吟味した内容としている。

今後作成した案を、議員全員協議会に送り、最終決定を行った後、今年4月1日付で効力を発する予定としている。



備えあれば憂いなし
(西住小学校における柴田町総合防災訓練)

議会活動を深める！ 議員研修会

様々な研修会に参加し、議員の資質向上に努めています。

- 日時 平成25年10月22日 柴田町役場
 内容 「郷土の歴史と文化財」
 講師 元しばたの郷土館長 日下 龍生 氏
- 日時 平成25年11月7日 宮城県自治会館
 内容 「議会広報に求められるのは？」
 講師 広報コンサルタント 深沢 徹 氏

- 日時 平成25年11月22日 えずこホール
 内容 「安倍政権で乗りこえられるか 日本の危機」
 講師 政治ジャーナリスト 田勢 康弘 氏
- 日時 平成25年11月26日 大河原合同庁舎
 内容 「地域医療 再生への処方箋」
 講師 城西大学教授 伊関 友伸 氏

あなたの一言



きくち まさお
菊地 正男さん
(槻木上町在住)

●柴田町に住んで良かった点は

最初は不安でしたが、コインランドリーで会った人から声をかけてもらって気持ちが悪くなりまし
た。北の方に見える山並みは良い
ですね。すっぼりと抱かれています
よ。落ちて着きます。また、お寺
さんの夏祭りでは花火が大きく見え
たことにも驚きました。近くの
ショッピングセンターで息子の
サッカーのクラブチームが震災被
災者支援の募金活動をするこ
ともできました。

●柴田町の好きな風景・場所は

館山の展望デッキに散歩に行き
ましたが、素晴らしかったです。
槻木の阿武隈川河川敷も良いと思
います。国道の騒音も聞こえませ

んし、川に沿って一回りすれば良
い散歩コースになります。お会い
する方にも声をかけていただいで
顔なじみになりました。

●町に何を望みますか

特にありませんが、夏の大雨で
水が道路にあふれたことに驚きま
した。考えていただきたいと思
います。

●議会だよりを読んでいますか

年4回の議会だよりを読ん
でいます。今度妻にも読ませ
ます。

●議会・議員に何を望みますか

前にいた町で議会を見に行つた
ことがあります。柴田町も議
論を交わしているのがわかりま
した。いつか傍聴に行きたいと
考えています。

未来へ向けて

お詫びと訂正

11月1日号しばた議会だより
の8ページ平成25年度補正予
算の中、「一般会計補正予算の主
なもの」表に誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。

誤) 船迫中学校屋上防水改修 工事	330万円
正) 船迫中学校屋上防水改修 工事	3,300万円

議会だより紙面作成費用は？

このしばた議会だより143号は、
約15,000部作成しています。
1部当たりの経費は約30円です。

編集後記

厳寒の最中、春の訪れが待たれる時季で
すが皆様いかがお過ごしでしょうか。本年
度最後の編集作業は新年早々の1月6日よ
りスタートしました。まだ正月気分
の抜けない中での作業に戸惑いながらも、議
会の語り部としての使命を共有し、レイ
アウトの構成などを試行錯誤しながら編
集作業6日間、広報委員全員で協力し
作成しました。

紙数の都合上、全て
を掲載できませんが、
次号が一日千秋の思
いとなるような「議
会だより」を町民の
方々にお届けしたい
と思っております。
是非ご一読いただき
ご意見・ご要望をお
寄せください。

議会広報常任委員

齋藤 義勝



ぜひ、議会の傍聴を!!

3月会議は
3月10日(月) 午前9時30分開会予定
一般質問は
3月10日(月)・11日(火)・12日(水)の予定
※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

町ホームページ 本会議審議等結果 各種会議の出欠状況 を掲載

町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町
議会 議会だより」「議会のうごき」に、委員会・全員
協議会の出欠状況もあわせて掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホーム
ページもご覧下さい